

ハロン湾



日本には、もうすぐ海の日になりますね！

私の故郷はベトナムのハロン市です。Quang Ninh 県のハロン市の南に位置しています。私の県は南北に伸び、北の方では中国に接しています。東の方はハロン湾に面しています。ハロン湾は世界遺産の一つとして知られています。湾内には、大小 2,000 もの奇岩、島々が存在します。伝承では、ここで竜が下りて、口から吐き出した宝石が湾内の島々になったと伝えられています。彫刻作品のような島々の景観は、太陽の位置によって輝きが変化して、雨や霧によってまた趣のある雰囲気醸し出します。石灰岩台地が沈降して、侵食作用が進んで、現在の姿となりました。地元の人々は、個性的な形をした島や岩に親しみを込めて名前をつけ、故郷の景色を愛してきました。犬島、象島、闘鶏島などが呼ばれています。

Le Dieu Huyen
2011.7.14





ティエンクンの宮殿

鍾乳洞とは、石灰洞とも呼ばれ、石灰岩が地表水、地下水などによって侵食（溶食）されてできた洞窟であり、ふつう石灰岩地帯に存在する。前者が洞窟内に生じた鍾乳石などの洞窟生成物（二次生成物）に視点をおいた用語であるのに対し、後者は洞窟を胚胎する地質的な母岩の種類に視点をおいた用語である。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8D%BE%E4%B9%B3%E6%B4%9E>

鍾乳洞の中には、1箇所穴が開いていて自然の光が差し込んでくる場所がありました。天に向かって開いたその穴は、それが天国につながっていると信じられていた事から、“ティエンクン”（「天宮」の意）と呼ばれています。



10年間以上前に、私の家族が別の所に引っ越ししました。新しい所には、海がありません。夏は昔住んでいた所のことをよく思い出します。いつも海のおいを嗅ぐと、しあわせになる感じがします。3年間ぐらい日本一島国に居て、毎年の海の日に皆で遊んでいます。